



長門の話題

Topics

市民に愛され、親しまれる庁舎に 市役所新庁舎が開庁

9月2日(月)、新庁舎の開庁式が開催され、市関係者や市議会議員、住民ら約70人が出席しました。
開庁式では大西市長が「市民に愛され、親しまれる庁舎になってほしい」とあいさつ。テープカットをして開庁を祝いました。
新庁舎は、木構造の5階建



▲テープカットで開庁を祝う



▲タブレット型の端末など ICT を活用した申請書作成支援も開始

てで免震構造を採用。7千㎡を超える木構造の庁舎としては、全国で初の取組となります。
開庁後は、窓口に来庁した市民がさっそく、新庁舎にあわせて導入された申請書作成支援システムなどを利用して申請手続きをする姿が見られました。

山陰道長門・俵山道路が開通

利便性と地域経済の発展に

9月8日(日)、山陰道長門・俵山道路の長門湯本温泉ICから俵山北IC間・延長5.5kmの自動車専用道路がついに開通しました。
この日行われた開通式には、県知事や地元地権者のほか、みどり保育園児など約210人が参加。ルネッサなどが式典が行われた後、長門湯本温



▲テープカットとくす玉で開通を祝う

泉ICに移動。トンネル前で国会議員や地元の小学生などによってテープカット・くす玉開披が行われた後、伝統の舞である湯本南条踊りを奉納し、完成を祝いました。
同日17時から供用が開始されると、多くの自動車がこの新たな道路で走り始めたそうです。



▲伝統の湯本南条踊りを奉納

長門のPeople

市役所新庁舎に萩焼の陶壁を制作

9月2日(月)に開庁した市役所新庁舎各階の市民ロビーには、萩焼で制作された陶壁が設置されています。

その大きさは幅80cm、高さ2m75cm。この陶壁の制作にあたったのが、深川湯本三ノ瀬地区で萩焼深川窯の作陶活動をしている5人の若手作家です。

5人の作家は連携して長門市を感じるができる作品を制作。作品にはテーマがあり、坂倉善右衛門さんは「煌めきの未来」、坂田澄治さんは「蜚」、田



▲(写真左より)新庄紹弘さん、坂田澄治さん、田原崇雄さん、坂倉正紘さん、坂倉善右衛門さん

旬な人

坂倉 善右衛門さん / 坂田 澄治さん / 田原 崇雄さん / 坂倉 正紘さん / 新庄 紹弘さん

(萩焼深川窯作陶家 / 深川湯本)



▲作者は自分の作品を見学者に説明していました

大津緑洋高校の生徒がカナダの高校と文化交流 地域の魅力を世界に発信

9月14日(土)、大津緑洋高校がインターネットを使ってカナダの高校生と文化交流を行いました。生徒はインターネットをつなげたカナダの高校生に向かい、金子みすゞの詩の朗読や紙芝居を披露。日本の文化を発信したり、お互いの学校生活を紹介するなどして、交流を図りました。



▲ラダートレーニングなどで体の動かし方を確認

木々の香りにあふれ、地域全体で子育てできる施設 日置保育園新園舎が完成

8月29日(木)、日置保育園の新園舎が完成し、祝う会に園児や保護者ら約70人が出席しました。新園舎は市内産材を中心に県産材を使った木造平屋建てで、子育て支援センターとボランティアハウスを併設し、地域全体で子育てや交流を図れる施設として、9月から供用開始されました。



▲新しい園舎でダンスを披露